



みどりの エッセイ

Vol.11

行成卓巳

「NHK・テレビ番組プロデューサー」

森のある暮らしを かまえずに伝える

自然には子供の頃から慣れ親しんできました。当時、まだ里山の風景が広がっていた東京の国分寺で育ち、親にすすめられたのがきっかけで、小学生から大学生までボーイスカウトで活動してきました。その頃は自然について深く考えるというよりも、単純に森の中でキャンプをしたり、学校では教えてくれない木や草花の名前を覚えるのが楽しかったんです。森の木々が風にそよぐ音を聞いたり、木漏れ日を浴びたり、自然の中にいると落ち着いたことを覚えていきます。大学生まで続けたのは子供たちにいろいろなことを教えるのが楽しかったからです。

産業廃棄物をテーマにした番組づくりや「クローズアップ現代」のプロデューサー時代を経て、今現在、担当しているのが「世界一周！地球に触れるエコ大紀行」です。番組では2人の男女の旅人（NHKアナウンサー）がそれぞれ北半球と南半球を廻り、旅をしながら、さまざまな体験をしていきます。たとえば、オーストラリアの先住民族、アボリジニは自然の恵みを自分たちの暮らしの中に取り入れて、歴史と伝統をつくってきました。自然豊かな地に生きる人々や生物たちの今を感じと

ることによって、原点を見直し、映像を通して自然を体感できたら……と考えたのが番組を企画したきっかけです。議論したり、大上段にかまえるのではなく、地べたから森のある暮らしを見つめた上で、森林伐採や環境問題を考えることにつながっていけばと思っています。旅人の2人は都会育ちで、テント生活も初めてです。さまざまな国で経験を積み重ね、変化していく姿もお伝えしていきたいですね。

よく都会から自然のある場所に癒されに行くと言いますが、その2つは無関係の世界ではありません。都会の中での暮らしを見渡してみると家具はもろろん、半導体も北欧の鉱物が素材になっているものもありまして、化学製品も石油からできています。地球のあらゆる自然から文明が発展してきたわけです。そのことに意識を向けると自ずと自然とのつきあい方が変わると思っています。

〈プロフィール〉

行成 卓巳（ゆきなり たくみ）
1957年生まれ。東京都出身。早稲田大学卒業後、1982年、NHKに入局。福井局を経て社会教養番組で主にドキュメンタリー番組を制作。NHKスペシャル「有害廃棄物があふれだす」「電子立国日本の自叙伝」「史上最大の不良債権回収」などを手がける。その後「クローズアップ現代」のプロデューサーを7年努め、NHKスペシャル「東京ヒートアイランド」を制作。現在、NHKエンタープライズの情報文化番組部長として「世界一周！地球に触れるエコ大紀行」（NHK BS11 毎週土午後7:00～7:50 ほか）を制作中。